

第10回日本放射線安全管理学会（JRSM）6月シンポジウム

主催： 日本放射線安全管理学会
共催： 福島県（予定）、郡山市（予定）、日本保健物理学会
日時： 6月13日（木）13:00～17:45
6月14日（金）10:30～16:30
会場： 郡山市民プラザ7F大会議室（郡山駅前”ビックアイ”内）
参加費： 福島県の一般市民の方 無料（先着80名）
交流会： 場所未定 4,000円（定員80名）

参加申込方法： 申込専用サイト（下記）よりお申し込みください。締切は5月31日（金）です。
www.symposium.jrsm.jp/2013/index.html

プログラム

6月13日（木）

12:00 受付開始

13:00 開会

13:15 基調講演 福島復興の現状

座長：野村 貴美

1. 福島復興に向けた取り組みの現状と課題

環境省環境保健部放射線健康管理担当参事官 桐生 康生

2. 川内村の全村避難から帰村、復興状況

福島県川内村復興対策課長 井出 寿一

14:15 休憩

14:30 セッション1 モニタリングデータ総まとめ

座長：榎本 和義

1-1 放射能モニタリングの課題と放射線安全管理学会の取り組み

高エネルギー加速器研究機構 榎本 和義

1-2 飯舘村大気中の放射線測定 - ふくしま再生の会との共同研究

¹国環研、²ふくしま再生の会、³高エネ研、⁴東大農

土井 妙子¹、鈴木 一成²、菅野 宗夫²、土器屋 由紀子²、岩瀬 広³、溝口 勝⁴

1-3 福島県農業総合センターの活動 - 高濃度汚染米の対策

福島県農業総合センター 吉岡 邦雄

1-4 個人被ばく線量のモニタリングの考え方

長瀬ランダウア（株） 壽藤 紀道

1-5 郡山市の活動—個人被ばく線量モニタリング

郡山市総務部

16:35 休憩

17:00 講演 座長：矢島 千秋
チェルノブイリ周辺地区の現状
長崎大 高村 昇

18:00 懇親会 (20:00 まで)

6月14日(金)

10:00 受付開始

10:30 セッション2 学会員の活動報告

座長：三好 弘一

2-1 郡山市、南相馬市での活動

東京工業大 富田 悟

2-2 原発由来物質対策委員会の活動

名古屋大 西沢 邦秀

2-3 ポスタープレゼンテーション

12:00 昼食休憩

13:00 講演

座長：古田 悦子

食の安全と安心を考える～氾濫する情報をどう読み解くか

科学ライター 松永 和紀

14:00 休憩

14:15 セッション3 健康リスクの考え方

座長：伊藤 茂樹

3-1 甲状腺検査について

福島県立医大 鈴木 眞一

3-2 胎児被ばくの考え方

放射線医学総合研究所 島田 義也

3-3 規制値の考え方

放射線医学総合研究所 米原 英典

16:00 総合討論

座長：山口 一郎、松田 尚樹

17:30 閉会